

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

| | | | | | | |
|------|----|---|-----|------------|------|---------------|
| 事業番号 | 10 | - | 事業名 | 男女共同参画推進事業 | 担当部課 | くらし文化部たつせがある課 |
|------|----|---|-----|------------|------|---------------|

| | | | | | | | |
|---------------|--------------|---|----|---------------------------|-----|---|------------|
| 基本情報 | 総合計画 | 基本方針 | 4 | 文化をみがき、人が輝くまち | 会計 | 1 | 一般会計 |
| | | 分野別項目 | 6 | 男女がともに尊重し、協力し合うまちをつくる | 款 | 2 | 総務費 |
| | | 施策の進め方 | 1 | 男女共同参画社会に向けての意識改革と人権尊重 | 項 | 1 | 総務管理費 |
| | まちづくり 行程表 | フラッグ | F1 | 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～ | 目 | 9 | まちづくり協働費 |
| | | 政策分類 | 1 | 住民の力を生かした新しい役割分担の仕組みをつくる | 大事業 | 3 | 男女共同参画推進事業 |
| その他(関係法令、要綱等) | | 長久手市の男女共同参画を推進する条例、長久手市男女共同参画審議会規則 | | | | | |
| 事業開始の背景、経緯等 | | 平成15年3月に長久手町(市)男女共同参画プランを策定し、事業を実施してきた。平成21年4月には長久手町(市)の男女共同参画を推進する条例が施行され、市の活性化に向けた男女共同参画の取組を推進している。 | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------|-------------|---|----|---|--|--|--|
| 事業目的等 | 事業内容 | (どのような事業なのか) 男女がともに尊重し合いつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるような「男女共同参画社会」の形成を推進することを目的とした以下の事業を実施する。 ・男女共同参画審議会事務事業 ・講座及び講演会 ・啓発事業(標語・川柳募集等) ・男女共同参画推進部会 | | | | | |
| | 事業対象 | (誰、何を対象にしているか) 市民 | | | | | |
| | 事業意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 男女が家庭、学校、職場、地域活動等の場に対等な立場で参画し、ともに責任を担い、各人の個性や能力をのびやかに発揮できる男女共同参画社会を実現するため、啓発等を行う。 | | | | | |
| | 事業を構成する事務事業 | ① 男女共同参画推進事業 | 拡充 | ④ | | | |
| | ② | | ⑤ | | | | |
| | ③ | | ⑥ | | | | |

| コスト推移 | 項目 | 単位 | 区分 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------|-------------|--------|----|------|------|-------|-------|------|
| | | 事業費(A) | 千円 | 予算 | / | / | 469 | 607 |
| 決算 | | | | / | / | 382 | 473 | |
| | 人件費(B) | 千円 | 決算 | / | / | 6,110 | 2,673 | |
| | 総コスト(A)+(B) | 千円 | 決算 | / | / | 6,492 | 3,146 | |

| 成果推移 | 成果指標 | 単位 | 区分 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|--|------------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | A | 男女共同参画講座等参加者数 | 人 | 目標 | - | - | 180 | 190 |
| 実績 | | | | - | - | 166 | 134 | |
| B | 標語・川柳応募作品数 | 点 | 目標 | - | 100 | 360 | 270 | 200 |
| | | | 実績 | 88 | 323 | 244 | 175 | |
| C | | | 目標 | | | | | |
| | | | 実績 | | | | | |
| 【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) | | | | | | | | |
| A 男女共同参画の理念を伝えることを目的とし、講座等の予定参加者数を指標とした。数値目標については前年度実績×1.1とした。 | | | | | | | | |
| B 男女共同参画の理念を伝えることを目的とし、応募作品数の予定数を指標とした。数値目標については前年度実績×1.1とした。 | | | | | | | | |
| C | | | | | | | | |

| | | |
|------|-----------------------|---|
| 環境変化 | 他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 | (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、平成27年9月に女性活躍推進法が策定された。 |
|------|-----------------------|---|

| | | |
|----|-------------|--|
| 評価 | 目標達成状況 | (成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) A: 出前講座1回、講演会1回、連続講座2回及び職員部会2回の開催により、134人が参加した。目標に達しなかったが、アンケートによるとこの事業の価値を認識したとの意見が多かったため、一定の成果はあったと考える。B: 市内小中学校にチラシを配布し、一定の成果がみられたが、他のPRが不十分であったと考えられるため、今回はチラシ配布に合わせて別のPR方法も検討する。 |
| | 事務事業全体を見た課題 | (構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 男女共同参画は、市民に理解されにくい抽象的な理念であるため、より分かりやすく伝えるための事業を実施する必要がある。 |

| | | |
|----|--------|---|
| 今後 | 今後の方向性 | (事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 男女共同参画の理念を分かりやすく伝えることができる内容で、特に最近話題となるLGBTについての講演会、講座及び啓発事業を実施する。 |
| | 中長期の目標 | (いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 第3次長久手市男女共同参画基本計画策定時までに、市民の理解、関心をより一層深める。 |

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------|-------|------------|------------|---|----------|---|---|---|---|-----|---|-----|---|
| | | 事業名 | | 男女共同参画推進事業 | | | | | | | | | | |
| 番号 | ① | 事務事業名 | 男女共同参画推進事業 | | 款 | 2 | 項 | 1 | 目 | 9 | 大事業 | 3 | 中事業 | 1 |
| 事務事業の期間 | 事務事業開始年度 | | 平成14年度 | | | 終了（予定）年度 | | — | | | | | | |

1. 事務事業の目的

| | |
|-------|--|
| 対象・手段 | (誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) |
| | 市民に対し、男女共同参画の理念を伝えるため、講座開催、講演会開催、啓発事業として標語・川柳を募集し表彰する事業等を実施。 |
| 意図 | (対象をどのような状態にしたいか) |
| | 男女が共にその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に共に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるような社会の実現を目指す。 |

2. コスト推移

| 項目 | 単位 | 区分 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-----|----|----|------|------|------|------|------|
| 事業費 | 千円 | 予算 | | | 469 | 607 | 542 |
| | | 決算 | | | 382 | 473 | |

3. 活動推移

| 活動指標 | 単位 | 区分 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|---------------|----|----|------|------|------|------|------|
| 男女共同参画講座等参加者数 | 人 | 目標 | - | - | 180 | 190 | 150 |
| | | 実績 | - | - | 166 | 134 | |
| 標語・川柳応募作品数 | 点 | 目標 | - | 100 | 360 | 270 | 200 |
| | | 実績 | 88 | 323 | 244 | 175 | |

4. 事務事業を取り巻く環境変化

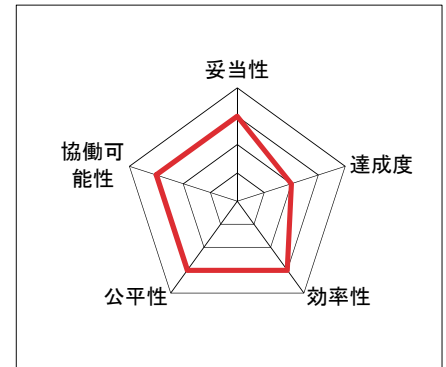
| |
|---|
| (制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) |
| 女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、平成27年9月に女性活躍推進法が策定された。 |

5. 前年度からの改善状況

| |
|---|
| <参考：前年度の事務事業評価のコメント> |
| 講座、講演会、啓発事業等を継続的に実施していく。応募が増加するようなPRの方法を検討する必要がある。 |
| (何をどのような状態に改善したのか) |
| 男女共同参画の理念は、市民に理解されにくい抽象的な理念であるため、市民まつりで分かりやすいコトバを使った子ども向けのイベントを実施する等、より分かりやすい内容に見直し事業を実施した。 |

6. 評価

| 項目 | 評価 |
|-------|----|
| 妥当性 | 3 |
| 達成度 | 2 |
| 効率性 | 3 |
| 公平性 | 3 |
| 協働可能性 | 3 |



【アピールポイント】

| |
|---|
| (活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) |
| 平成28年度に実施した講演会は、男女共同参画の理念を伝える初めの一歩として、分かりやすい内容とした結果、参加者の満足度が高かった。 |

【ウィークポイント】

| |
|--|
| (活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) |
| 両活動指標の実績が、前年度と比べて落ち込んでしまった。事業内容やPR方法を見直す必要がある。 |

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

| |
|--|
| (改善の方法、今後の具体的展開など) |
| 講演会について、男女共同参画の理念を伝えるきっかけとなるような分かりやすい内容で実施をしたが、集客に繋がらなかった。分かりやすい内容に加え、より市民が興味を持つような内容や集客方法で実施していく。また、最近話題に上げられるLGBTについて理解を深めるための事業を実施する。 |